

議会だより

No145

平成27年
10月31日発行

群馬県邑楽町議会 URL <http://www.town.ora.gunma.jp/chosei/gikai> E-mail gikai@swan.town.ora.gunma.jp



中野東小学校運動会

平成27年 9月定例会

平成26年度決算認定される(一般会計・各特別会計)
平成27年度補正予算可決(一般会計・各特別会計)

- 可決された議案……………3~4
- 決算質疑……………4
- 一般質問……………4~13
- わたしのふるさと等……13~14

一般質問 11人の議員が町の考えを問う

- ・原 義裕 議員
- ・大賀孝訓 議員
- ・神谷長平 議員
- ・松島茂喜 議員
- ・小島幸典 議員
- ・松村 潤 議員
- ・坂井孝次 議員
- ・瀬山 登 議員
- ・塩井早苗 議員
- ・大野貞夫 議員
- ・小沢泰治 議員

動画による配信が始まります
ホームページからアクセスできますので
ご覧ください

9月定例会

平成26年度の決算を認定

一般会計歳入総額93億4,234万円
歳出総額89億2,241万円
町税収入37億862万円（歳入総額の39.7%）

9月定例会では、平成26年度の一般会計決算をはじめ、各特別会計の決算が提出されました。各常任委員会において審査を行い、17日の本会議で各会計とも認定されました。

一般会計決算額は、歳入が前年度と比較して、8億5216万円の増となりました。国庫支出金、自動車取得税交付金等が減少した一方、繰入金、繰越金、県支出金等が増加したことにより、繰入金は、公設等整備基金繰入金が1億1207万円、財政調整基金が8536万円増加したこと、繰越金は、前年度繰越金が1億7360万円、明許繰越費が4295万円増加したこと等により、増加しました。町税収入は、前年度より6629万円増の37億862万円であり、決算規模の拡大により、歳入総額に占める構成比は、39・7%（3・2%減）となりました。なお、町税については、1627万円の不納欠損処理が行われ、収入未済額も昨年度より若干少ない3億

7762万円余りとなっています。収納率については、現年課税分が平成24年度98・1%、平成25年度98・0%、平成26年度98・2%と推移しており、収納の努力は認められるものの、もう一段の成果の向上を図ることが必要と考えます。歳出の決算額は、予算額93億5810万円に対し、89億2241万円（執行率95・3%、対前年比3%増）となっています。増加の主な要因は、高島幼稚園改築事業3億7627万円や財政調整基金積立金8637万円、減債基金積立金1億1324万円の増など教育費や総務費の増等です。実質単年度収支は、7年振りに赤字となりました。町税等の落ち込みは若干回復したものの、公債費は増加に転じたままです。また、

少子高齢化の進展により、扶助費を中心に財政需要が増大していくと見込まれます。引き続き、各事業運営の改善や効率化をより一層推進されるよう要望します。

また、昨年実施した機構改革も組織を機能的にし、効率的な事務事業の執行を実施するためであり、より一層の効果を期待します。（決算審査意見書抜粋）



改築された高島幼稚園新園舎

■平成26年度決算額

会計別	歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計	93億4,233万8,148円	89億2,241万1,237円	4億1,992万6,911円
国民健康保険特別会計	33億4,171万7,680円	32億4,956万2,655円	9,215万5,025円
後期高齢者医療特別会計	2億2,113万1,888円	2億1,953万6,010円	159万5,878円
介護保険特別会計	17億6,493万0,212円	17億1,619万0,398円	4,873万9,814円
下水道事業特別会計	3億2,016万9,655円	2億9,557万2,257円	2,459万7,398円
学校給食事業特別会計	2億4,475万8,894円	2億4,047万3,203円	428万5,691円
水道事業会計	5億3,020万6,699円	5億0,727万9,653円	2,292万7,046円 (税引前当期利益)

■平成27年度補正予算額

会計別	予算現額	補正額	予算総額
一般会計	88億0,757万円	5億2,367万円	93億3,124万円
国民健康保険特別会計	35億9,165万円	7,899万円	36億7,064万円
後期高齢者医療特別会計	2億2,232万円	161万円	2億2,393万円
介護保険特別会計	18億1,504万円	4,904万円	18億6,408万円
下水道事業特別会計	2億8,504万円	2,036万円	3億0,540万円
学校給食事業特別会計	2億4,562万円	5万円	2億4,567万円

可決された議案

9月定例会

【条例改正等】

邑楽町総合計画基本構想の議決に関する条例

町の総合計画基本構想を議決事項とする条例を制定しました。

邑楽町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の公布に伴い、条例を制定しました。

**邑楽町情報公開条例の改正
邑楽町個人情報保護条例の改正**

邑楽町手数料条例の改正
「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の公布に伴い、条例の一部を改正しました。

「邑楽町いじめ問題対策委員会等設置条例」が制定されたことに伴い、条例を制定しました。

邑楽町いじめ問題対策委員会等設置条例

「いじめ防止対策推進法」が制定されたことに伴い、条例を制定しました。

邑楽町議会会議規則の一部を改正する規則

議会の欠席届の取り扱いについて、規則の一部を改正しました。

町道の路線認定及び廃止

鶉土地区画整理事業に伴う町道路線の認定及び廃止をしました。

【報告】

平成26年度健全化判断比率及び資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき健全化判断比率等が報告されました。

【人事案件】

情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱

平成27年9月30日で任期満了となる情報公開・個人情報保護審査委員に、高木祥充さん（太田市）、中村詔司さん（藤川）、近藤雅義さん（狸塚）を委嘱することに同意しました。

公平委員会委員の選任

平成27年9月15日で任期満了となる公平委員の選任について、飯塚勝一さん（鶉）を選任することに同意しました。

固定資産評価審査委員会委員の選任

平成27年9月21日で任期満了となる固定資産評価審査委員の選任について、藤田良一さん（石打）を再任することに同意しました。

教育委員会委員の選任

平成27年9月30日で任期満了となる教育委員の選任について、岡田真幸さん（篠

塚)を再任することに同意しました。

【契約の締結】

邑楽町立北保育園改築工事

(建築工事)

契約金額(消費税込)

1億9191万円

契約の相手方

太田市飯田町

株式会社 大雄建設

邑楽町立北保育園改築工事

(機械設備工事)

契約金額(消費税込)

5659万円

契約の相手方

桐生市相生町

株式会社 キンケン

邑楽町立中野小学校水泳

プール改築工事

契約金額(消費税込)

1億7496万円

契約の相手方

邑楽町大字赤堀

株式会社 徳川組

邑楽町立邑楽中学校特別教

室棟改築工事

契約金額(消費税込)

9828万円

契約の相手方

太田市浜町

石川建設 株式会社

邑楽町スポーツ・レクリ

エーション広場人工芝生整

備工事

契約金額(消費税込)

1億7679万6000円

契約の相手方

邑楽町大字赤堀

株式会社 徳川組

【財産の処分】

町有地を売却しました。

所在 新中野130番18

地目 宅地

地積 3995㎡

所在 新中野130番20

地目 雑種地

地積 2173㎡

売却の金額

1億280万円

売却の相手方

東京都大田区本羽田

株式会社 カネダ

決算の
主な質疑(要旨)

一般会計、各特別会計の
決算にあたり、行政効果
などについて質疑が行わ
れました。

Q 松島茂喜議員 第六次町

づくり総合計画事業委託金
を459万円支出している
が、作成にあたり町民の意
思は反映しているか。

A 町長 町民の要望や考え
方を十分反映したもの(ア
ンケート調査の結果)を集
約し、策定業務は多岐に渡
るので、業者委託した。

Q 神谷長平議員 予防費委
託料で約1000万円の不
用額が出ているが、その理
由は何か。

A 健康福祉課長 予防接種
委託料が主であるが、予定
していた対象者よりも実際
に受けた人が少なかったた
めである。

Q 大野貞夫議員 介護保険

料の大幅な値上げと老齡年
金の目減りがある。基金か
らの繰入れは。

A 町長 介護保険料の引き
上げはあるが、サービスを
受ける人は増えている。基
金からの繰入れは、難題が
あるが、運営状態によって
は検討していく。

Q 大賀孝訓議員 学校給食
事業特別会計に未徴収金が
発生している。町税などと
同様に扱うのか、どのよう
に徴収していくのか。

A 教育長 町税などは別
に扱う。学校や給食セン
ターと協力して徴収してい
きたい。滞納者なしを目指
したい。

一般質問

一般質問は、9月9日及び10日に行われました。質問には、
11人の議員が登壇し、町の行政事務などについて執行部
の考えをただし、活発な議論が行われました。

町政運営と町の将来について

原 義裕議員 第六次総合

計画策定に向けて、4会場
で広聴会を開いたが、状況
を聞きたい。

企画課長 7月21日から24

日まで4日間、4会場で開
催した。町民の出席者は、
想定より少なかったが、特
に、少子高齢化や人口減少
社会の現在、改めてご意見
やご提言を聞き確認した。

原 義裕議員 参加者が少
なかったということは、町
民への呼びかけが足らな
かったか、総合計画に関心
がなく飽きたのか。総合計
画は「絵に描いた餅」で、
あてにならないという考え
方もあるが。

町長 区長会や関係する団
体に、多くの参加を呼びか
けた。関心が少ないのでは
と言われるが、総合計画は、

町の事業執行の基本であるので、努力していく。

原 義裕議員 平成28年度からの第六次総合計画は、本当に「あなたの声を反映させた夢あふれたまちづくり」を盛り込んだものになるのか。

町長 策定に当たっては、将来予想される課題等十分見極め行政需要を想定する。人口減少問題、少子高齢化問題等の確に計画を実施するという思いで策定する。

原 義裕議員 平成26年度の繰越金額はどの位あるか。
総務課長 3億621万6000円である。

原 義裕議員 財政調整基金は、どの位あるか。

総務課長 残高は、平成26年度末で21億4396万1000円である。参考までに、平成22年度は15億7942万6000円であった。

原 義裕議員 約束事で繰

越金があれば、財政調整基金に半分繰り入れられ増えていく。増額することは、町民へのサービスができていないと誤解されるが。

町長 町民サービスの低下と誤解されても仕方ないが、今後は、議員に理解していただき積極的な行政運営を行っていく。

総務課長 財政調整基金の取り崩しは、災害復旧や地方債の繰り上げ償還に充てるとき。その他、財源の不足が生じたとき。この場合、議会の承認が必要となる。

原 義裕議員 議会の承認を得て、使う機会がなかったのか。

町長 今後は、財政調整基金を積極的に有効に活用し、町民へのサービスが提供できるような考えていく。

原 義裕議員 これから町の将来を見据えたとき、21億円ある財政調整基金を有効に使うことが町長の手腕だ。人口減少の歯止め、人

口増加への政策、空家・空地の解消、商工業・農業の振興、地場産商品の開発振興、都市計画の見直し等々ある。考えを聞きたい。

活気ある町づくりを

学校教育の振興について

大賀孝訓議員 4月下旬に全国学力学習状況調査が行われ、結果が8月25日付で発表された。町長はこの結果をいつ、どこで、教育長から報告があったか。

町長 日には定かでないが、教育長から結果について報告を受けている。

大賀孝訓議員 どの場所、どなたが同席したのか。

町長 三役と総務課長との調整会議の席で受けている。

大賀孝訓議員 日付がわからないほど、内容についてはさしたるものではなかったのか。朝の打ち合わせで

町長 活気ある町づくりを考えていく。具体的には、子どもを産み育てやすい町、教育文化を高める。また、産業団地を造成し、雇用を創出していく。邑楽町版の地方創生に取り組み、住みよい町づくりを目指す。

簡単に報告が済ませられるようなものだったのか。

教育長 27日の朝には伝えましたが、大まかな結果や概要傾向などを報告した。

大賀孝訓議員 こういった大事なことを簡単な報告で済ませてしまう。町に細かく報告しないということは、情報が漏れる、信用できないということか。

教育長 町部局を信用しないということではない。ただ分析は細かいところまで進んでいない。いい加減なデータで知らせるわけにはいかない。

大賀孝訓議員 いい加減なデータで報告することがないということは、今までに把握しているデータはいい加減なものということか。

教育長 大まかな概要、傾向である。

大賀孝訓議員 こういうことは、執行部なり事務局には、きちんと正確なものを早目に知らせることが大事である。さて教育長、今度の結果を見てどんな感想を持っているか。

教育長 邑楽町については、小中学校とも正答率は昨年が良かったので、今年は少し下がった。今回の調査では、総じて全国のグラフから飛び出ている、良い状況である。

大賀孝訓議員 良い結果が出ているとか、そういうことではない。教育長は、課題意識を持って、どうやったら伸ばせるか、学力低位群の子どもたちを、もっと引き上げられるかという意

識を持たなければならぬ。結果が良かったなどと満足している教育長ではためである。教育長は、アクティブラーニングという言葉はご存じか。

話し合いと課題解決

教育長 先ごろ注目されている学習のあり方で、特に高校生が多いが、子どもたちが主体となり、話し合いながら課題解決をして、力をつけていくやり方である。

大賀孝訓議員 全国的に評判になっている。高校生や何かではなく、よく研究して、本町の学校教育に生かしてほしい。邑楽町の教員の中で難しいのが他市町との交流であるが、活発に進んでいるか。

教育長 邑楽町は地理的条件などで、希望者は多い。

大賀孝訓議員 本町の中で回すような人事はあるか。

教育長 小学校から中学校

へ、または、中学校2校での交流はある。

その他の一般質問
・おうち中央多目的広場の活用について

公共事業について

神谷長平議員 社会教育施設（既存の3施設）邑楽町公民館・産業研修会館・勤労青少年ホームや今回計画している新公民館などは、今後どのように利用されるのか。

教育長 既存の社会教育施設は、耐用年数がきて使用ができなくなるまでは、地区公民館などとして事業、貸し館など、郷土資料館や研修施設などに使える学習施設の機能を持たせる。

神谷長平議員 邑楽町公民館も耐用年数がくるまでその形態で利用するのか。

教育長 邑楽町公民館については、どういう使い方をすると一番いいのかということでも有効活用を考えながら社会教育の場、もしかしたら少し違う有効活用があ

れば検討していきたい。

神谷長平議員 邑楽町の社会教育の中で、これらの施設を利用して他の町に誇れるものが何かあるか。

教育長 社会教育施設で行っている特色のあるものは、2歳児とその保護者を対象とした子育て広場の事業と思う。

神谷長平議員 公民館運営の中で邑楽町公民館は非常にランニングコストに対する人件費の割合が高い。先日、他の2町を視察したが、そのときの資料を参考に試算すると、邑楽町公民館が

平成24年度は、人件費が1㎡あたり1万2724円かかっている。M町では、5708円、I町では、9702円。平成26年度では、

邑楽町公民館が1㎡あたり

1万4100円、M町は、5715円、I町は、8134円となっている。この金額の差をみてどのように考えるのか。

教育長 M町は人件費の一部が、社会教育総務費の方で措置されているので、その差が出ていると思われる。

神谷長平議員 現在進めている、新しい公民館のランニングコストだが、過去の定例会においても数人の議員が質問をしたが、明解な答弁がされていない。どれくらいの金額を見込んでいるのか。

教育長 今回建設する中央公民館は、エレベーターや舞台機構、照明や音響装置など、また電気料やメンテナンス料金なども加わってくるので、2200万円の内

試算よりさらに増える。

神谷長平議員 建物の無機質生命体では、インシャルコスト25%・ランニングコスト70%・建物の解体費5%、全体で100%これらを基本に概算積算される。または、既存施設の実績と建物生命体で計算したものは、約9000万円から1億円のランニングコストが見込まれる。町民に公表し理解を求めて欲しい。

町民の理解を求める

教育長 今後、設計が進み具体的な設備も含めてきちんと試算をして、町民の理解を求めていきたい。

その他の一般質問
・高齢者ボランティアについて

中央公民館建設について

松島茂喜議員 設計業者が民事再生法適用申請をした

が、町民が受けた不利益は何か。

生涯学習課長 無為に3カ月経過し、スポーツの信用調査にかかった費用など不利益はあったと思う。

松島茂喜議員 その原因は、日総建側だけにあったのか。

生涯学習課長 それを防ぐ手立てが十分にできなかった責任は私どもにもあると思う。

松島茂喜議員 入札審査会で9社に絞った時点で、経営状況などの調査を行ったのか。

副町長 行っていない。それが大きな欠点であった。

松島茂喜議員 問題は、その責任の取り方だが、町長の考えは。

町長 大変不備な点はあったが、今後そのような事が起きないように対応は考えていく。

松島茂喜議員 血税を預かっている認識が薄い。結

果的には、誰も責任を取らないのか。

町長 その責任は、計画どおり進めて行くことのでかせせていただきたい。

松島茂喜議員 義務は果たすが、責任は取らないという答弁であるが、予算化した設計委託料についても納得がいけない点がある。建設予定の中央公民館は、3095㎡で7128万円。板倉町新庁舎は、約5000㎡で5600万円。1㎡あたりでは、邑楽町が約2万3030円。板倉町は1万1200円である。同じ設計業者で2倍以上であるが、この積算根拠は何か。

積算の甘さがあつた

るとかなり高い金額になってしまふ。近隣市町村の事例をもとに算出した。」と言っている。板倉町はそういった努力をしている。これを無駄遣いといわないのか。

町長 職員の努力によって大変数字が削減されたということであれば、私どもの積算の甘さがあつたと思う。

松島茂喜議員 使用料の問題だが、6月議会から3カ

学校給食の一部公費負担について

小島幸典議員 給食費は、児童1人あたり幾らかかっているか。

教育長 小学生4100円、中学生5000円の給食費となっている。

小島幸典議員 小学生と中学生の公費負担はどのようになっているか。

月が経過しているが、具体的にどこまで検討したのか。**生涯学習課長** 各館の館長、社会教育主事でプロジェクトチームをつくり、全国的な事例の研究を始めた。また、町長から実費徴収を基本に検討するよう指示が出ているので、各部屋の電気料などのデータを設計者に提出させている。

松島茂喜議員 実施設計完了まで日総建に委託するのは、引き続きお願いします。

町長 引き続きお願いします。

教育長 小中学校の給食費は、子どもからの徴収金と町からの繰出金で半分ずつ負担している。子どもからの集金は、平成26年度の実績で1億3107万9994円である。

小島幸典議員 例えば中学生と小学生、3人子どもが

いる場合、割引は現時点ではどのようになっているか。**教育長** 子どもの数に関係なくいただいている。

小島幸典議員 邑楽町は毎年余剰金を出している。子どもが3人、4人の家庭にあつて楽しく生活ができるようなことが、行政または町に携わる人たち、議員はもとより、財政調整基金等21億円を考えれば、全額補助といかないまでも、補助ができないか。この人たちがあと15年、20年たつと納税者になる。県外へ出たときに、自分が育つた町のきずなを今から種まきしておくことが大事だと思う。サラリーマン、自営業者も納税している。それを貯めて



大好きな給食

おくのではなく、お金を回
転させ、子育て支援は町の
大きな仕事だと思う。一人
あたり2分の1、2500
円の補助金は出せないか。

補助をする 考えはない

町長 給食費の補助という
大変ありがたい意見である。
現在行っている状況を十分
勘案し精査して給食費の補
助が適当かどうか考えるが、
現段階ではそのような補助
をする考えは持っていない。

小島幸典議員 心がなけれ
ば政治はやれない。貯める
ことばかりではなく、やは
り外に出す。そして、心の
きずなを子ども、先生含め、
給食センターの人たち、野
菜、お米、果物を提供して
いる町の人たち、それを協
働のまちづくりと私は思う。
1000円でも援助はでき
ないか。

町長 現段階では考えてい
ないが、将来にわたって十
分状況を勘案していきたい。

小島幸典議員 お金が使え
ないのであれば、お金を出
してもらえるところ、ふる
さと納税で賄えれば、ふる
さと納税を幾らいただいた
も20万円は材料費で使うよ
と、長柄地区の白菜と中野
地区の柿を使うとか、心の
つながりが人間と人間のお
互いに助け合う心を育むか
などと思う。財政調整基金を
使わず、ふるさと納税1人
10円、20円でも子どもが成
長し、野球のイチロー選手
や松井選手のように活躍す
れば、星のごとく、輝いて
くれると思う。ふるさと納
税で行う考えは。

町長 ふるさと納税をされ
る人も年々増えているが、
給食費についての軽減策と
いうことについては、費用
負担がどれくらいかかるか
などいろいろ調査、検討研
究していきたい。

その他の一般質問

・中央公民館ランニングコ
スト削減方法の研究を

認知症対策について

松村 潤議員 65歳以上の
高齢者のうち認知症を発症
している人は、推計15%、
2012年時点で約462
万人いる。さらに団塊の世
代が75歳以上となる202
5年には、700万人を超
えると推計されている。厚
生労働省は、本年1月認知
症対策を国家的課題として
位置付け認知症施策推進総
合戦略、新オレンジプラン
を策定した。この新オレンジ
プランの基本的な考え方
として「認知症の人の意思
が尊重され、できる限り住
み慣れた地域で自分らしく
暮らし続けることができる
ような社会の実現」を目指
すことが明記された。本町
はこの新オレンジプランに
ついてどう考えるか。

れているが、一人でも多く
の認知症サポーターを計画
的に拡大、育成していく必
要があると考えるが。
副町長 県の主催する認知
症サポーター養成講座に一
人でも多くの人に参加して
もらえるよう周知を図り、
地域の民生委員・児童委員
にも知らせ推進する。また、
町独自に年一回程度講座を
開催し養成を図っている。

松村 潤議員 認知症への
理解を深めるための普及
啓発の事業に認知症サポー
ター養成講座がある。全国
の自治体で進めているが、
本町では養成講座を受講し
サポーターに認定された人
は何人か。

松村 潤議員 サポーター
の年齢が60歳代、70歳代
の人が多く、10代から50歳代
の人が少ないという事であ
るが、これからは若い人た
ちへのアプローチが重要と
考える。小中学生の子ども
たちにもサポーター養成講
座を開催しているところも
あり、大人になってから習
得するのではなく、子ども
のころから学び、認知症へ
の理解を深められる機会を
作る考えは。

認知症対策は 喫緊の課題

町長 認知症の人が認知症
とともによりよく生きてい

松村 潤議員 本町では認
知症サポーターが人口に占
める割合は、1・3%程度、
県平均は4・5%となる。
全国平均が3・8%といわ

教育長 今核家族が多く、
高齢者と一緒に住んでいな
いので、まずは認知症、高

齢者について、子どもたちに正しく理解させることだと思っている。そのため学習は必要などころにきてるので、認知症を学ぶ講座を開催するよう検討する。

広聴会について

坂井孝次議員 7月21日から24日に行われた邑楽町第六次総合計画の広聴会について聞きたい。広報おうち

1月号に町長のあいさつとして「総合計画の策定を行いました。計画策定に際しては、広く町民の皆さんの声をお聞かせいただく機会を設ける予定ですので、ぜひご協力ください」と書いてある。ところが、私が考えていた広聴会とはかなり違っているように感じた。最初に第六次総合計画は町

にとつて、どのような位置づけに当たるのか。

町長 総合計画は、町の行政運営を行っていく基本となるもので、今後10年間どのような事業を執行してい

松村 潤議員 いつ開催するのか。

教育長 校長会に提案し、できるだけ早く、必ず開催する。

くかという、大もとになるものである。

坂井孝次議員 広聴会は、どのような考えのもとで計画されたのか。

町長 より多くの町民の皆さんの声を、その計画に反映させるためである。要望とか意見を可能な限り計画に反映させていくという考え方のもとに実施をした。

坂井孝次議員 どういう成果が得られたか。

町長 人口減少の問題では、有効な土地利用ということで、市街化調整区域の土地を有効に活用して、住宅地にしたかどうかという希望を持っている人もいた。健

康寿命の関係では、毎日の運動を通して元気な体をつくるということについて、積極的に取り組んでいいのではないかという意見があり、計画の中に盛り込んでいきたいと思っている。

坂井孝次議員 今回の広聴会には何人ぐらいの人が参加したのか。

町長 4会場で約70人、その後、小中学生の広聴会を役場大会議室で行い、これが32人、合計約100人の参加があった。

坂井孝次議員 この人数に對しては、どのように評価しているのか。

町長 人的には、残念な結果だったと思う。

人的には 残念な結果だった

坂井孝次議員 町民の声を聞いてから基本構想をつくらうとの雰囲気を見えた。本来なら行政サイドから構

想を提示し、「皆さんの声を聞きたい」との対応だったら、もつとたくさん意見が聞けたと思う。これからはもつと考えた取り組みをお願いしたい。それから計画に必要なものは、「い

鶉土地区画整理事業の進捗状況について

瀬山 登議員 鶉土地区画整理事業は、平成10年9月17日付で群馬県知事の認可を受け、総事業費69億7000万円、施行期間25年で開始された。17年が過ぎた現在の進捗状況は。

町長 事業費で19億円。面積で14・4ヘクタール。事業費ベースで27・3%、面積では36・3%である。

瀬山 登議員 平成19年金子町政になってからの進捗状況は。

町長 平成20年度から7年間で総事業費6億8000万円。全体事業費に対する割合では9・7%となっている。

つまでに、何を、どのようにするか」だと思っている。この点については、どのように考えているか。

町長 結果報告についてはこれからもお知らせするようになりたいと思う。

瀬山 登議員 17年間の平均事業費は、1億1200万円。進捗率も1・39%。金子町政では、事業費と進捗率ともに落ちていますが、どう考えているのか。

町長 家屋などの移転等、期間を要したが、最近では地権者の理解をいただいて進んでいる状況である。

瀬山 登議員 今年度、区



整備予定の鶉中央道路

画整理事業は5回目の変更
縦覧が出された。内容は、
8年間の事業延伸、一部道
路の幅員縮小、道路の一路
線追加、総事業費の減額で
ある。残り16年間毎年3億
1000万円の事業費の支
出を考えたいうえで、事業延
伸を群馬県に出したのか。

町長 将来的にこの計画が
順調に推移できるであろう
という考えのもとに変更し
た。

瀬山 登議員 地域住民は、
長期間未整備の鶴中央道路
未舗装の通学路、冠水する
住宅地など苦難な生活をし
てきた。毎日の生活を少し
でもよくするため、鶴中央
道路など問題のある場所か
ら事業を実施してほしい。

町長 仮換地未指定区域6
ヘクタールを今年度中に仮
換地指定を行い、鶴中央道
路の整備を進めたい。

瀬山 登議員 担当する職
員を3人配置しているが、
職員不足による事業の遅れ
はなかったか。

町長 年次的に区画整理が
進むよう担当職員が鋭意努
力している。

瀬山 登議員 これからの
推移を見ていく。今年町長
選挙が行われるが、金子町
長が再任され今までの遅れ
を挽回するチャンスだと思
う。この区画整理事業が順
風満帆に進む様子を見たい。
私の任期中に再度進捗状況
を質問したい。

今後も努力をしていく

町長 区画整理事業は、長
期的な計画である。町民の
皆さんにご支援をいただき
なかで、再選できたならば
今後も努力をしていきたい。

ムの準備状況は。

健康福祉課長 地域包括ケ
アシステムは市町村が地域
の自主性、主体性にに基づき、
その地域の特性に応じ20
25年を目指してつくり上
げていくシステムである。
自助、互助、共助、公助を
体系的、総合的につなぎ、
特に互助の強化が重要視さ
れる。平成29年4月から実
施され、既存の介護事業所
による事業に加え、NPO
や民間企業、ボランティア
や協同組合など、いろいろ
な団体によって多様なサー
ビスが提供可能になるとい
う国の方針もある。町とす
ればそういうサービスが提
供できる社会資源や団体等
の掘り起こしに努めている。

塩井早苗議員 町では、昨
年から今年3月にかけて、
ある先生を中心とした勉強
会を月1回のペースで開催
した。そして、顔と顔がつ
ながった。実は、顔がちな
がるということが、このシ
ステムをつくるに当たって

地域包括ケアシステムの取り組みについて

塩井早苗議員

総合事業を

含めた地域包括ケアシステ



The Lounge
— 休憩室 —



岩崎 俊博
(秋妻・17区)

邑楽町に生まれて60年

我が邑楽町も、実りの秋を迎え、田んぼ一面
が黄金色の田舎風景となってきました。町も開
発され、より住みやすい町へと変わってきました
た。「何もない」が、暮らしやすい町。邑楽町は、
夏は暑いが土砂崩れや津波がなく、安全安心
な町と思っていました。

最近では、大雨による大洪水、竜巻など予
想もしなかったことが、発生するようになって
きました。これからは、「よそ」の話ではなく、
住んでいる地域の皆さんと一緒に、一番
よい方法を考える必要があると思うようになり
ました。自分たちの生活を、よくするには、
自分たちで、できることはする。手伝いに外へ
出る。できないときは、他の人に助けてもらう。

この気持ちを持ち続け、邑楽町というすば
らしい「ふるさと」が、いつまでも続くことを
願い、町民の一人として、地域に貢献できれば
と思っています。

大切なことで、次の具体的な行動にこれがつながっていないのではもったいない。事例検討会や地域のケア会議の開催状況は。

健康福祉課長 定期的なケア会議の開催に結びついている。

塩井早苗議員 人材育成については。

健康福祉課長 定期的な情報共有、連携・共同による取り組みを行う協議体の設置に向けて、関係機関に働きかけを行ったところである。関係者のネットワーク化を図るための生活支援コーディネーター等も委嘱し、生活支援介護予防サービスへの開発、発掘への取り組みを進めているところである。介護予防サポーターの育成や認知症サポーター養成講座等を行うことで、介護に関する情報提供や制度の周知を図り、ボランティアの育成につなげていきたい。

塩井早苗議員 先の見えない不安で、経済的に、ぎりぎりの高齢者に対する救済は。

健康福祉課長 低所得者に関しては、介護保険料等の軽減をする方策をとっている。サービス利用に関しては、社会福祉法人による利用者負担の軽減。障害者などへのホームヘルプサービスの減免など、低所得者の人が介護サービスを利用できないという状況にならないよう対応している。

塩井早苗議員 包括ケアシ

地方創生と町づくりについて

大野貞夫議員 政府は、今年の6月30日に、向こう5年間を視野に入れた経済財政運営と、改革の基本方針の日本再興戦略、成長戦略を閣議決定した。このことについてどう考えているか。

町長 一つには、地方における安定した雇用の創出を図ること。二つ目は、地方

STEMの準備に当たる嘱託職員を専任で配属する考えは。

知識と経験のある 職員の配置

町長 高齢者が住みなれた地域で、自分らしい人生を最期まで続けていくということは大切である。そのために住まい、医療、介護予防、生活支援が一体的に提供されることが大切である。この地域包括ケアシステム構築を図っていく取り組みに専門的な知識と経験のある職員の配置は必要だ。

への新しい人の流れを作ること。三つ目は、若い世代の結婚、出産、子育ての希望を叶えること。四つ目が、時代に合った地域と地域を連携することが必要と認識している。

大野貞夫議員 町としては、人口ビジョンや総合戦略を



片山真由美
(水立大黒・23区)

応援メッセージ

先日、20歳になる息子が数人で友人宅に遊びに行ったとき、父親がこんな話をしてくれたそうです。

「人生はモグラたたきと一緒だ。社会に出るといろいろな困難や挫折、思いどおりにいかない苦しみがある。心が落ち込み土に隠れてしまったことが何度もあるかもしれない。

しかし、そこから這い上がって土から顔を出せば、手を貸してくれる人やよいアドバイスをしてくれる人が現れ、何らかの方法が見えてくる。

だから、嫌なことがあっても必ず顔を出して前を向いて頑張ってほしい」

帰宅するなり「○○の親父すごいよ。」

いい話をするよなあ」と自慢げに話す息子。

その姿に成長を感じ、応援して下さるかたがたがいることに感謝です。



策定しなければならぬが、町が、これからどんなふうに変わっていくのか。どのような町づくりを進めるのか。

町長 町が抱えている問題を根本的に捉えていくことが重要である。「まち・ひと・しごと」といわれているが、雇用を創出するための産業の育成、加えて道路のアクセスも良好で自然環境も整っている。こういったことを十分生かした町づくりに、努力をしていく。

大野貞夫議員 具体的に何をやっていくのが語られなければ、具体化していくことにはならない。

産業団地を 造成していく

町長 具体的には、出産祝い金、また就学前の児童に対する保育料、給食費の軽減策、二つ目には、産業団地を造成していく。町内に今5カ所ほどの候補地を挙げている。

大野貞夫議員 この地方創

生の中で、例えば仮に一年間医療機関にかからなかった人に、何らかの特典を与える。ヘルスケアポイントといわれている。こういうことも視野に入れた中で活用していくポイントだと思う。また、地域の再投資力、地域経済の中での循環をつくり出す施策も必要ではないか。その典型が、住宅リフォーム補助制度、店舗も含めた店舗リニューアル政策。思い切った補助率を上げるなど検討課題として行う必要があると思うが。

町長 健康づくりについては、大事な行政の仕事だ。さきに研修に行った際、簡易な健康機械を利用し、健康維持や健康づくりを行っている例を見てきた。この辺については具体化していきたい。住宅リフォームについても、創生事業の中で活用できるのであれば、店舗についても、町の商工会等と協議をした中で検討したい。

大野貞夫議員 成長戦略の中

には、広域連携ということも含まれている。突き詰めると道州制につながる。もし、中枢都市圏に組み込まれると、吸収合併も考えられるが。

町長 地域の問題は、自分たちでつくり上げていくと考えた場合には、十分、町

益々厳しさを増すこれからの邑楽町について

小沢泰治議員 邑楽町にお

いては革新町長、革新教育長というふうに考えている。本当の意味で強いパイプを持つことができないのではないかと。ぜひ、革新町政と国政、県政とのパイプについて、町長、教育長の話を聞きたい。

町長 冒頭お断りをする。

私は革新町長ではない。国、県、近隣市町村との関係は極めて良好に事業執行している。

教育長 革新教育長とのお話だが、県教組に若いとき入っていたが、良いものは

づくりは、個々にやっている。基礎自治体がしっかりとやっていくのだということを考えていきたい。

その他の一般質問

・ 国民健康保険制度の変更について

・ 邑楽町の臨時、非常勤職員の実況について

良い、子どもにとって良くないものは良くないというところで、教鞭をとってきた。

小沢泰治議員 中央公民館

ホール建設について、建設設計業者の日総建という会社が、民事再生手続きが受理された。非常に残念な事態が起きてしまったと思っている。

町長は民事再生手続きについて、大きな1枚の印刷物で町民がわかるような情報提供をしたか。また、これからする気持ちがあるか。

町長 町民の皆さんへは、

広報紙等でお知らせするのでご理解いただきたい。

小沢泰治議員 邑楽町には

中学校が2校ある。教育環境の改善のため中学校の統合が良い。子どもたちが少なければ、部活、学問、競争、人間関係においても、いろいろな経験ができず、社会に出てからも不都合が生じる。邑楽町の統合中学校ができたときの生徒数が893人、ピークが1243人。中学校2校のピークが1490人、現在は両校合わせて755人と非常に減っている。1、2、3歳児の合計が552人しかない。私は、早急に統合して子どもたちに平等の教育機会を与えるのが教育長の仕事であり、町長の仕事であると思う。

教育長 現在でも学習内容については、同じようにやっている。

小沢泰治議員 今の教育長の話ですと大分先になる。

中学校を統合したならば1校が空く、執行側が提案して、中央公民館建設を白紙に戻す。そのような英断も必要と思う。なぜなら邑楽南中学校は立地条件がいい。全国に邑楽町の良さを発信できる場所である。白紙に戻す件について町長の考えを聞きたい。

町長 中央公民館建設について、白紙に戻すことは考えていない。

小沢泰治議員 町内対抗野球大会、盆野球が来年の夏で60回大会となる。町内には、野球場が幾つもあるが、中心的な球場として利用している松本公園の施設整備を補正予算を組んでもお願いしたい。

生涯学習課長 観覧スペース、外野フェンスなど要望があった点について財政当局とも相談しながら、利用者に耳を傾けながら実現を図っていければよいと考えている。

議会のうごき

8月

- 18日 中央公民館建設特別委員会視察調査
中央公民館建設特別委員会、全員協議会
- 19日 邑楽郡町村議会議長会臨時会
- 23日 おうら祭り
- 26日 議会運営委員会
- 27日 総務教育常任委員会、産業福祉常任委員会
- 28日 全員協議会

9月

- 6日 防災訓練
- 8日~18日 9月定例会
(本会議、議会運営委員会、各常任委員会
全員協議会、中央公民館建設特別委員会、
広報委員会)
- 24日 戦没者追悼式
- 25日 町道幹線19号線開通式
大泉町外二町環境衛生施設組合議会
- 29日~10月1日 邑楽郡町村議会議長会議長・局長合同県外視察研修

10月

- 2日 議会広報委員会編集会議
- 4日 町民体育祭
- 14日 太田市外三町広域清掃組合議会
- 15日~16日 群馬県町村議会議長会役員会
- 16日 議会広報委員会校正会議
- 21日 中央公民館建設特別委員会、全員協議会
- 22日 邑楽館林医療事務組合議会
館林地区消防組合議会
- 23日 邑楽郡町村議会議長会親善スポーツ大会
- 30日 群馬県町村議会議長会議員研修会

請願・陳情

2件の請願が受理され、審査の結果次のとおりになりました。

【採択となった請願】

▼「国際平和支援法」及び「平和安全法制整備法」の廃案を求める意見書の採択を求める請願

請願者

板倉町朝日野

戦争法案に反対する邑楽

館林実行委員会

代表 大西和夫

【継続審査となった請願】

▼交差点における道路交通の危険を除去・緩和し、交通の安全を保持・増進するための適切な対応を求める請願

請願者

邑楽町篠塚

交通事故防止を求める会

代表 塚越史郎

意見書

議員提案の意見書1件を可決しました。意見書は関係行政庁に提出しました。

「国際平和支援法」及び「平和安全法制整備法」の廃案を求める意見書

議会を傍聴しましょう

次回の定例会は
12月22日から28日を
予定しています

(開会は原則、午前10時 一般質問は24日、25日を予定)

住所・名前・年齢を受付簿に書くだけでどなたでも傍聴できます。

役場庁舎1階ロビーのテレビにおいても、本会議の様態を中継していますので、お気軽にご覧ください。

議会の会議録(議事等の経過をそのまま記録したもの)は、図書館、邑楽町公民館、産業研修会館(長柄公民館)、勤労青少年ホーム(ヤングプラザ)に置いてあります。また、ホームページにも会議録全文を掲載していますので、ご覧ください。

URL <http://www.town.ora.gunma.jp/chosei/gikai>
詳しくは、議会事務局まで 88-5511 (内線300)

長崎県対馬市



津野シゲ子
(光善寺・15区)

私

のふるさととは、長崎県対馬市です。対馬市は、中央にある万関橋によつて二つの島がつながれています。昭和30年代は、博多港から船で6時間でしたが、今では福岡空港からジェット機で15分で着きます。

私の実家は、島の入江の30戸足らずの小さな集落にあります。小高い山の頂上には、戦時中に作られた砲台が今も残っていて、遠く玄界灘の向うには、韓国が見える国境の島です。

近所には盆暮れ払いの小さな雑貨屋がありました。果物は、みかんや柿、栗、梨があり、野菜も庭先に植えていて、鶏は放し飼いで、よく卵を探しました。味噌や醤油は、大きな釜で大豆を煮てすべて自家製でした。

浜に行けばサザエやカキなどがたくさんあり、初春にはわかめや岩海苔をみんで収穫しました。魚は父が釣ってきてくれました。贅沢を知らない生活でしたが、不自由を感じたこと

はありませんでした。お年寄りの中には、この集落から一度も出たことがない人もいました。牧場には、小柄な対馬馬が放牧され、呼ぶとすぐに走ってきました。

自然しかない島ですが、思い出がいっぱい입니다。ふるさとっていいものです。ね。



島の中央にある万関橋



夏の記録的猛暑が収まり、記録的低温と長雨、そして、記録的集中豪雨が関東・東北地方に大災害をもたらした。記録的とか五十年に一度とか異常な天候異変が異常ではなくなってきた。我が国だけでなく、地球規模の大規模災害がマスコミにより報じられている。異常が異常でなくなる地球の異変に対して私たちに何ができるのであろうか。

個人の力は小さくても何かをしなければならぬ。

ゴミの減量化、水資源の節約、省エネによる化石燃料の節約等、以前から言われていることをさらに徹底しなければならぬ。

私たち議会は小さな力ではあるが、地道に力を結集し、温暖化防止のための取り組みをさらに進めていく使命がある。全町へ全国へと発信し邑楽町の小さな力を大きなエゴな波へと発信し、問題提起したい。

今こそ、全町民の英知を結集したい。

(大賀記)